

ノウ フク

ちば農福連携マルシェ

inペリエ千葉



2022.12.9(金)・10(土)

12.7(水)・8(木)「手しごとマルシェ」連続開催

第5回ちば
農福連携
マルシェを
開催します



出店事業所募集のご案内

運営:千葉県障害者就労事業振興センター

ちば農福連携マルシェは千葉県の農業と福祉の連携で生まれた農産品、農産加工品を紹介して農福連携の取り組みを広く県民のみなさまに知っていただく販売会です。

出店をご希望の事業所様は実施概要、募集要項をご確認の上、別紙お申込書にてお申込みをお願いいたします。

実施概要

- ・名称 : ちば農福連携マルシェ in ペリエ千葉
- ・日程 : 2022年12月9日(金), 10日(土) 11:00~19:00
- ・会場 : JR千葉駅中央改札外コンコース (図1)
ペリエ千葉3階前の通路 (約40m)
- ・主催 : 千葉県
- ・運営 : 特定非営利活動法人千葉県障害者就労事業振興センター
- ・協力(予定) : 千葉市、千葉県社会就労センター協議会、ちば農業支援ネットワーク
- ・後援(予定) : 千葉日报社、朝日新聞千葉総局、産経新聞千葉総局
東京新聞千葉支局、毎日新聞社千葉支局、読売新聞社千葉支局

図1



中央改札よりそごうに抜ける南北の通路が会場となります (ペリエ千葉3階前)



- のりば案内
- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| ①② 総武-中央線各駅停車(西船橋-秋葉原-新大塚方面) | ③④ 外環線(船橋-幸野駅間方面) |
| ⑤⑥ 総武線快速(東京方面)
(成田エクスプレス) (※乗換必要) | ⑦⑧ 総武本線(佐倉-八日市場-船千方面) |
| ⑨⑩ 内環線(本郷線-船山方面) | ⑪⑫ 成田線(成田-佐原方面)
(成田エクスプレス) |

※新型コロナウイルス感染のまん延防止等の観点から中止・延期の場合もございますのでご了承ください



募集要項

- ・ 募集対象 : 千葉県内の障害福祉サービス事業所等
- ・ 募集条件 : 「農業」と「福祉」の連携をテーマにした品目の販売をメインに行えること。具体的には米、豆、いもをはじめ、野菜、果実、花きなどの園芸品、畜産品、農産加工品※などの商材を全体の5割程度ご用意お願いします。物販のみ（飲食不可）。
※農産加工品⇒農作物を使った食品、菓子等の加工食品、雑貨
- ・ 募集事業所数 : 各日とも15事業所（15ブース）程度
- ・ 申込締切 : 2022年9月12日（月）までをお願いします。
- ・ 申込方法 : 別添の申込用紙にてFAXもしくはメールにて裏面の振興センターまでご送付ください。申込書データは以下の振興センターHPよりダウンロードしてご利用ください。

<https://www.jusan-kassei.or.jp>
- ・ 販売方法 : レジスター2カ所で会計を行う集中レジ方式でのお会計といたします。JAN表示のない商品についてはスキャン用バーコードシールの添付をお願いします。
（詳細は出店事業所様に運営要綱にてご連絡させていただきます）
- ・ 販売手数料 : なし。但し出店費用として1日1000円／1ブースをご負担いただきます。

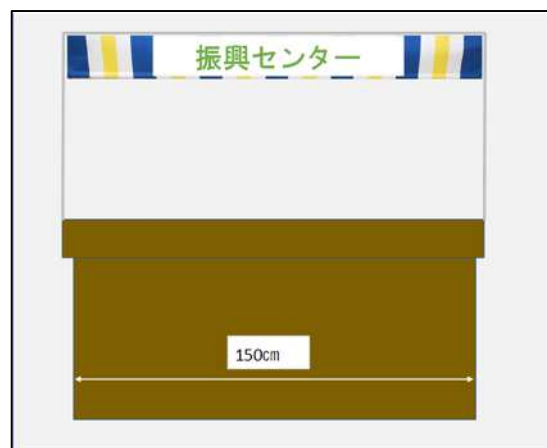
・ 販売にあたってお願いしたいこと

1. 新型コロナウイルス感染症防止のため販売当日の販売スタッフ様の検温、体調チェックをお願いするとともに、感染状況によっては事前の検査等の対応をお願いする場合がございます。
2. 販売商品は食品表示、栄養成分表示、野菜の産地表示など法律の遵守をお願いいたします。尚8月2日（火）に「農産加工品に関する基礎知識」オンライン研修を予定しております。特に農産加工品販売を予定している出店事業所様はぜひご参加ください。
3. 試飲、試食については昨年度に続き包装済み商品の配布のみを予定しております。
4. 万一商品の不適合などで発生したお客様への補償については事業所様で加入しているPL保険でのご対応をお願い申し上げます。
5. 駐車場のご用意はございません。搬入後は近隣の有料駐車場をご利用ください。

・スケジュール

日時	内容
9月12日(月)	申込締め切り
9月末	出店事業所決定、運営要綱送付
10月下旬	出品商品リスト提出、ポスター、チラシ送付
11月初旬	添付用バーコードシール送付開始
販売当日	9:00より搬入・陳列開始

・ブースイメージ



冷蔵ガラスケース:4台



冷蔵・冷凍オープンケース:4台



冷蔵・冷凍ストッカー:4台

問い合わせ先

温度調製品(冷蔵・冷凍品)用の什器も
ございますのでご相談ください

(特非) 千葉県障害者就労事業振興センター
〒260-0856
千葉市中央区亥鼻2-9-3
TEL043-202-5367 FAX043-202-5368
✉center@jusan-kassei.or.jp
担当 国府田・東

【参考】出店事業所様のさまざまな農福の取組事例

第4回ちば農福連携マルシェより

エリア	ご紹介したい農福連携のポイント	エリア	ご紹介したい農福連携のポイント
大網白里市	いちご『真紅の美鈴』の栽培や日本酒用の米の生産を行っています。農業の後継者不足や高齢化が課題の地域において、私たちにお手伝いできることが沢山あると思います。障害者の一般就労の場として確立し、障害者の雇用促進と地域の活性化を目指しています。	千葉市	千葉県四街道市産の梨の中で、傷がついているなどで廃棄されてしまうものをチップスやジャムに加工して販売しております。また梨の皮も加工して匝瑳市で生産されている減農薬、有機栽培の米粉（100%）と合わせて健康的なパウンドケーキを作っています。ほかにもおいしいお米を小分けにして地域住民の方に届けるといった活動にも取り組み始めています。
千葉市	袖ヶ浦産の「プリンセスエッグ」を使用しています。マルシェではシフォンケーキ、パン、スティックパウンドケーキを販売いたします。シフォンケーキのふわふわなのにしっとりとした食感をお楽しみください。	市川市	事業所で栽培した野菜を販売しています。また収穫した野菜を加工して漬物や乾燥野菜を製造しています。
千葉市	千葉の素材を活かすことにとことんこだわり、生産者さんとの協働で商品開発を行うことで、福祉から発信する「地域の活性化」を目指しています。「生産者さんにも、消費者さんにも・・・みんなに笑顔届けたい!」「千葉を元気にしたい!」そんなメッセージを込めたお菓子を焼いて、みなさんにお届けします。	千葉市	「みんなで楽しくおもてなし」をスローガンにオリジナルブレンドティー「ゆめ和紅茶」や植物性食材のみを使用したヴィーガンクッキーを作っています。また「加曽利加塚ともに生きるプロジェクト」に参加して、千葉県産のどんぐりを使用したどんぐりクッキーの製造販売を行っています。
木更津市	農薬、化学肥料を使わない有機JAS認証農園です。自分たちでブルーベリーを育て、果実を加工し販売する6次化をすすめています。付加価値をつけることで働く障害者の高い工賃を実現しています。	市原市	さまざまな障害を持った方と職員で野菜や花などを育てています。無農薬で水と土にこだわって栽培しています。
柏市	食品加工班・農耕班・養鶏班・配達班にわかれ、美味しいジャム・味噌・野菜・卵を、皆で力を合わせて作っています。	一宮町	農園では年間約20種類の野菜を栽培しています。切り干し大根・人参等の乾燥野菜も作っています。今年から干し芋を始めました!
千葉市	今回は当法人で働く知的障害や精神障害等を抱える方々が「地産地消」をテーマに作った千葉県産の素材をふんだんに使用したシフォンケーキや焼き菓子を出品させていただきます。	千葉市	事業所近くの自家菜園で農作業に取り組んでいます。畑を耕す所から始め、種まき、水やり、草取り、肥料をまき、日々収穫を楽しみにしながら野菜作りに励んでいます。事業所内では、四季おりおりの美しい花を球根や苗から育てています。今日は、大根・白菜等の新鮮な野菜を是非、召し上がって頂けたらと思っています。
松戸市	とうふの製造販売を行っています。千葉県産の枝豆、生姜を使用した「枝豆とうふ」「生姜とうふ」が人気です。	八街市	障がいのあるお客様が、種まき・収穫・そしてその収穫した野菜の加工まで行っています。加工品とあわせて新鮮な野菜もご賞味ください。
鋸南町	自分たちで栽培したトマトや菜花を使ったお弁当を製造し、地域の法人や個人のお客様へお届けしています。ほかにも地場の土産品として「さんが焼」「しま鱈の押し寿司」を製造販売しています。	館山市	地域の農家様のご協力で収穫した野菜や、事業所で栽培した野菜を使って加工食品を作っています。また米作りをはじめ、グループ内では花きの栽培にも取り組んでおり、さまざまな角度より農福連携を推進しています。
千葉市	地元八千代市の新鮮な牛乳を主原料としたしっかりとした味わいのルフトアイスクリームを製造しています。千葉県優良県産品にも指定されている逸品です。		

